



観音寺市議会だより
KAN-ONJI CITY COUNCIL No.17 2018.5.1



ミライエ

観音寺の輝く未来へ
市議会の動きをわかりやすくお伝えします



表紙提供：観音寺市観光協会

3月定例会のあらまし	 2
一般質問	 6
審議結果	 11



検索

観音寺市議会

平成30年度予算可決

一般会計 270億9千万円
(前年度比 15億4千万円増)

今年度の主な事業【委員会別】

総務委員会関係

●新船建造事業 9,197万円

老朽化した「ニューいぶき（平成6年進水）」について、安全性の確保と維持管理費の削減のため、新船を建造する。



< 拡充 >

●自治会活動支援事業 3,557万円

自治会連合会や各单位自治会の活動を支援する。
(平成30年度 1世帯あたりの活動補助額の拡充)

< 拡充 >

●地域防災推進事業 534万円

自主防災組織（新規結成）の防災資機材整備補助、小学校区の防災訓練支援補助、防災士資格の取得に対する補助、防災資機材の整備に対する助成などを行い、地域の防災力を強化し災害の防止と被害の軽減を図る。
(平成30年度 自主防災組織の防災備蓄食糧購入に対する補助を新設)

< 新規 >

●海老済及び海老済石砂地区飲料水供給施設整備事業 5,497万円

水道施設がない海老済および海老済石砂地区について、飲料水供給施設を整備する。

< 新規 >

●公共施設等総合管理計画個別計画策定事業 1,254万円

市有施設について、各施設分類ごとの整備の基本方針や長寿命化などの個別計画を策定する。また、施設マネジメントシステムを導入し、公共施設の一元的な管理を行う。

定例会が3月1日から27日までの27日間の会期で開かれた。提出された議案のうち、観音寺市水道事業の設置等に関する条例の廃止、人権擁護委員の候補者の推薦、香川県広域水道事業体設立準備協議会の廃止についての3議案を初日に原案のとおり可決および同意した。

一般質問は8日に会派代表（3人）、9日に個人（10人）が市政について質問した。昨年度まで予算審査特別委員会にて新年度予算を審査していたが、今年度は各常任委員会に分割付託し審査した。最終日には、全ての各常任委員会付託議案を原案のとおり可決した。また、議提議案2件を提案し可決、副市長の選任議案については同意した。

●消防ポンプ車整備事業 2,156万円

市消防団が保有する消防車両（ポンプ車、積載車）21台を計画的に更新する。（平成30年度 粟井分団）



●消防屯所建設事業 4,620万円

地域防災の拠点である市内22か所の消防屯所を計画的に更新する。
（平成30年度 柞田分団屯所：建設工事、豊田分団屯所：地質調査、実施設計）

●国際交流・姉妹都市交流事業 191万円

姉妹都市である滋賀県草津市、北海道虻田郡真狩村、米国アップルトン市との交流（文化やスポーツ、青少年などの派遣や受入など）を図る。

建設経済委員会関係

●企業誘致推進事業 435万円

観音寺市内への企業誘致を推進し、雇用の拡大を図る。（企業情報収集、企業訪問、企業誘地のための土地利用調整計画などの策定）

<新規>

●空き店舗等活用事業 390万円

中心市街地における空き店舗などを改装し、店舗や事務所として開設する事業者に補助を実施し、地域経済の活性化を図る。（平成30年度 空き店舗等の改築に対する補助金の創設（補助金額100万円、施工業者が市内に限り130万円）

●新規就農者サポート事業 1,781万円

将来にわたり農業を支える人材を確保するため、認定新規就農者などが、円滑に就農できる環境を整備する経費などについて助成を行う。



<新規>

●柞田川右岸線改築事業 461万円

観音寺港の埋立整備の完了による企業立地に伴い、交通量の増加が見込まれる柞田川右岸線の改築を実施し、利便性の向上を図る。（平成30年度 測量設計）

●スマートインターチェンジ整備事業 2,500万円

市中心市街地へのアクセス向上を図るため、高松自動車道と幹線道路を接続するスマートインターチェンジを整備する。



▲スマートインターチェンジ(イメージ図)

●中央七間橋線改築事業（七間橋工区） 2億7,200万円

都市計画道路（街路）中央七間橋線（七間橋工区）を整備する。（用地測量、物件調査、用地取得）
【全体計画】実施年度 平成28～32、L=110m、W=17m、総事業費 3億7,000万円

●道路改築事業(社会資本) 1億3,820万円

歩行者の安全、交通の円滑化、地域経済活動を支える道づくりとして道路整備の推進を図る。
(計画対象：栗井駅南線、観音寺大野原線、栗屋堂之岡線、国道小学校線ほか1線、下木屋豆塚線)

<新規>

●公共施設等適正管理推進事業(舗装補修) 4,000万円

市内幹線道路の舗装の路面性状調査、路盤状態を確認し、舗装の表面に係る補修について修繕計画を立て、計画的な修繕を行うことにより安全性と信頼性を確保する。
(観音寺大野原豊浜線、室本八幡線、丸井原線)

文教民生委員会関係

<新規>

●ピロリ菌対策事業 54万円

中学生3年生を対象にピロリ菌感染の有無を検査し、感染期間が短いうちに除菌を行うことにより、胃がん発症のリスク軽減を図る。

<新規>

●保育所施設耐震改修事業 4,393万円

老朽化している栗井保育所について耐震改修工事を実施し、安心して保育を受けられる環境を整備する。

<新規>

●豊浜小学校改築事業 3,722万円

施設・設備が老朽化している豊浜小学校について、校舎を敷地内へ改築し、安心して教育を受けることができる環境を整備する。(平成30年度 土質調査、基本設計)

●観音寺中央幼稚園建設事業 9億2,785万円

柞田幼稚園、豊田幼稚園、一ノ谷幼稚園を統合し、観音寺中央幼稚園を建設する。(平成30年度 園舎等建設工事、備品購入)



▲建設中の観音寺中央幼稚園

<新規>

●市民会館活用促進事業 950万円

文化芸術に関するさまざまな催し(映画上映会、コンサート、市民ミュージカルなど)を開催することにより、市民が文化芸術にふれ、さまざまな人びとが集い交流する機会の提供を図る。

●観音寺東公民館建設事業 3億732万円

現在の観音寺東公民館は、老朽化が進行しているため、旧観音寺東小学校跡地へ移転改築する。
(平成30年度 建設工事、備品購入)

●運動公園施設設備改修事業 7,603万円

老朽化が進んでいる施設設備の改修などを実施する。(平成29年度繰越 屋外トイレ改修工事)
(平成30年度 野球場整備(防球ネット、外野フェンスの改修)、駐車場整備工事)

<拡充>

●がん検診事業 6,250万円

がんの早期発見と治療のため、がん検診（胃がん、乳がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、前立腺がん）を実施する。

（平成30年度 胃がん医療機関検診（胃の内視鏡検査）の開始）



<新規>

●産後ケア事業 113万円

産後支援を必要とする産後6カ月未満の母子を対象に一定期間の宿泊、通所により母体管理や育児指導などの支援を行い、心身の安定と育児不安の解消、虐待予防を図る。

<新規>

●放課後児童クラブ施設整備事業 538万円

放課後児童健全育成事業で運営する放課後児童クラブについて、需要の高まりに対応するため施設整備を行い、受入人数の増加を図る。（平成30年度 柞田なかよし教室建設実施設計、一ノ谷なかよし教室改修実施設計、観音寺第2なかよし教室外構整備）

<新規>

●自殺対策計画策定事業 483万円

保健、医療、福祉、教育、労働、その他の関連施策が連携し、包括的に自殺対策を図るため、自殺対策計画を策定する。

総務委員会報告

平成30年度予算をはじめ、平成29年度補正予算、条例改正などを審査。審査の結果、平成30年度観音寺市一般会計予算に対する附帯決議案が提出され、反対意見もあったが、賛成多数で可決した。その他の議案については原案のとおり可決すべきものと決定。

附帯決議案

平成30年度観音寺市一般会計予算中、4款 衛生費、1項 保健衛生費の各種補助金についての説明を受けたが、他の団体への補助のあり方との整合性、補助金額の妥当性には疑義があるため、再度調査・検討を行い、その結果を議会に報告すること。

建設経済委員会報告

平成30年度予算をはじめ、平成29年度補正予算、条例改正などを審査。審査の結果、全ての議案を原案のとおり可決すべきものと決定。

文教民生委員会報告

平成30年度予算をはじめ、平成29年度補正予算、条例改正などを審査。審査の結果、全ての議案を原案のとおり可決すべきものと決定。



大賀 正三
自民新国会

総合振興計画における
これまでの反省点は

答 弁
各種施策の見直しや強化
に取り組み

【質問】 人口減少に負けない強い観音寺市を創り上げていくとあるが、どのような点を反省し今後にご生かすのか伺う。

【答弁】 具体的な反省点としては、「地域経済の活性化」の面では、空き店舗数の増加や製造業の事業所数の減などがみられること、「市民協働体制の確立」では、自治会加入率の低下やNPO団体数の伸び悩みなどがある。これらの反省点を踏まえ、第2次総合振興計画では産業振興や地域コミュニティの活性化など、各種施策の見直しや体制の強化などに取り組み。

観音寺ブランド認証品の販路拡大
や販売促進は

答 弁
カタログ販売事業にのせ
て、販売促進が期待される

【質問】 地産外商の強化に、市として具体的にどのように取り組んでいくのか伺う。

【答弁】 販売促進を図るため、株式会社郵便局物販サービスが行うカタログ販売事業への参入に向け、協議を進めている。このカタログ販売事業は、観音寺ブランド認証品を中心とした観音寺の産品をカタログに掲載し、四国内の約1,000局の郵便局窓口で販売できる事業で、ブランド認証品の販売促進が大いに期待できるものと考えている。



五味 伸亮
壮志会

全公立幼稚園で預かり
保育実施を提案

答 弁
一つの選択肢として研究
を進める

【質問】 若者の定住・移住を促進し、子どもを産み育てたいと思える環境づくりは命題である。しかし、待機児童が増え、希望が叶わない保護者からは、怒りに近い要望や意見もいただいている。全公立幼稚園で預かり保育の実施など、早急な対応を強く要望するが、考えを伺う。

【答弁】 教育委員会と健康福祉部が連携し、待機児童解消に向けた庁内検討部会で検討・協議を継続している。国の動向も注視し、公立幼稚園での預かり保育も待機児童解消の一つの選択肢として研究を進める。

インスタグラムの公式活用を提案

答 弁
関係機関と連携を取りな
がら検討

【質問】 市の魅力は豊かな自然と恵みであり、魅力に囲まれた穏やかな日常が郷土愛や定住の気持ちを生むものと考ええる。そこで、写真を主に市の魅力を視覚で伝える情報発信として、インスタグラム公式活用を提案するが、考えを伺う。

【答弁】 高屋神社が【天空の鳥居・天空の社】とインスタグラムで多く投稿されている。市公式の活用については、印象的な画像を通じて魅力が発信できるよう、市観光協会など関係機関と連携し検討していく。



石山 秀和
公明党

施政方針について

答 弁
中心市街地の賑わい・活
性化につなげたい

【質問】 「空き店舗等活用事業」とは。

【答弁】 中心市街地内の空き店舗や空きオフィスなどを改装し、店舗や事業所を開設する方の改装工事費を補助する。補助額は、対象経費の2分の1以内で100万円を上限とするが、市内業者で工事を行った場合は、対象経費の3分の2以内で、上限130万円とする。

財政の健全化は

答 弁
一層の財源確保と経費削
減に努める

【質問】 経常収支比率は。

【答弁】 平成27年度決算では89・2%、平成28年度では90・0%で財政硬直化の傾向。

【質問】 経常収支比率に占める人件費の推移は。

【答弁】 平成27年度は24・5%、平成28年度は21・7%と減少している。職員の年齢構成の若年化が要因。

【質問】 市債残高は。

【答弁】 平成29年度末現在高見込額は、385億2,977万7,000円。このうち元利償還相当額の全額が後年度交付税措置される臨時財政対策債は124億7,940万4,000円、元利償還金の70%が交付税算入される合併特例債は、169億3,175万8,000円となっている。





篠原 和代

平成30年度の保育所・保育園の受け入れ状況は

答 弁

定員1、331名のところ
申込者数は1、475名

【質問】 幼稚園における待機児童対策として、豊浜幼稚園、大野原幼稚園で実施している預かり保育を観音寺幼稚園や平成31年度開園予定の観音寺中央幼稚園で実施できないか。

【答 弁】 待機児童解消に向けて、公立幼稚園での預かり保育も1つの選択肢であり、幼稚園部局と保育所部局が連携した庁内検討部会を立ち上げ、現在検討を継続している。

【質問】 待機児童解消のための緊急措置として、幼稚園の空き教室を保育所の保育室として活用できないか。

【答 弁】 幼稚園の空き教室を保育所の保育室に転用する可能性や実現性について、現在、国や県に対して問い合わせを行い、研究を進めている。



大平 直昭

各支所へ期日前投票所を

答 弁

設置にはさまざまな課題がある

【質問】 大野原・豊浜支所への期日前投票所の設置が望まれているが、旧市町別の期日前投票の割合と、各支所での投票日直前3日間だけの開設は可能か伺う。

【答 弁】 平成29年の観音寺市長選挙においての投票者に対する期日前投票者の割合は、旧観音寺市が32・24%、旧大野原町が14・89%、旧豊浜町が13・97%だった。また、投票期間を短縮しての支所での設置は制度上できるが、経費や人員の確保など、さまざまな課題がある。



答 弁

認定こども園の取り組みを進捗していないが、今後取り組んでいく

【質問】 待機児童や現行の幼保制度の問題を考えると、認定こども園の取り組みを進める必要があると考えるが、状況は。

【答 弁】 進捗していない。今後、保育所と幼稚園が連携して就学前の子育て支援について検討する必要がある。幼保事務の一元化と一緒に調査研究に取り組みたい。



大久保 隆敏

もう箱物（公共建築物）はいらない！

答 弁

計画的に公共施設の再編整備を進める

【質問】 人口減少・少子高齢化といういまだかつて経験のしたことのない時代に突入した。日本創成会議の人口予測によると、本市の人口は22年後には約4万2、000人。この数字は合併時から旧大野原町・旧豊浜町を合わせた人口がゼロになるという数字だ。

もう箱物（公共建築物）はいらないと言う多くの市民の声があり、私も同感である。新しく建てる公共建築物は庁舎・学校・消防施設などに限定し、その他は統廃合。白川市長の言われる30年・50年持続可能な市を構築するためには公共建築物の削減は避けて通れない重要課題である。見解を伺う。

【答 弁】 将来の人口減少、少子高齢化社会においても持続可能な市を構築するためには、公共施設の削減は重要と考える。現在、観音寺市公共施設等総合管理計画に基づき、2044年度までに公共建築物の総量の20%削減を目標に取り組みを進めている。また、建て替えなどの更新費用や維持管理費などのコスト圧縮を目指しており、将来の負担軽減を図るため、数と規模（延べ床面積）の両面から削減を検討する。





白川 雅仁

後期高齢者の人間ドック費用助成を

答 弁

費用助成の在り方を検討する

〔質問〕 75歳を過ぎると人間ドック費用助成がなくなる。後期高齢者が健康を維持し、いきいきと活躍できる社会を築くためにも実施してほしいとの声をお聴きする。今後の取り組みについて考えを伺う。

〔答弁〕 後期高齢者の人間ドック費用助成については、本市では実施していない。

現在実施しているのは、35歳から74歳の国民健康保険の被保険者1,000人を対象に三豊総合病院で受診することができる一日人間ドックの費用助成である。

これまでの人間ドック事業の考え方は、若い世代から健康状況をチェックして病気の早期発見、早期治療により健康な生活を送っていただくことを優先し、35歳からの受診を促進してきた。

県内においては、後期高齢者医療保険の被保険者に対する人間ドックの費用助成は、4市5町が後期高齢者医療制度の国の特別調整交付金の対象事業である「長寿・健康増進事業」の助成を受けて行っている。

今後、後期高齢者が増加する中、人間ドックのニーズも高まることが予想されることから、香川県後期高齢者医療広域連合事務局とも人間ドックに対する助成の在り方などを検討していく。



井上 浩司

平日昼間に発生した災害対応は

答 弁

消防団員の人材確保を図る

〔質問〕 消防団員は全国的に見ても減少し、サラリーマン団員は73%を占める。

団員の減少は、地域の防災力の低下に直接結びつき、市民の安全・安心な生活を脅かすことになるが、今後の取り組みについて伺う。

〔答弁〕 平成29年4月1日現在、観音寺市消防団は、23分団、定数713人で組織され、実団員数は691人、充足率は96.9%である。

団員の確保策として、団員に対して、店舗や事業所で割引などの優遇サービスを受けられる「消防団員応援制度」を平成28年から開始している。

また、消防団員を雇用する事業所の「消防団協力事業所制度」により、現在5事業所に表示証を交付し、団員が活動しやすい環境づくりに努めている。

平成17年に消防庁は、特定の活動のみ参加することのできる、機能別消防団員制度を導入した。

本市においても、今後進展する少子高齢化に伴う消防団員の減少の状況を注視しつつ、機能別消防団員の導入について検討するとともに、市職員の消防団活動についても配慮し、地域の消火活動や水防活動などに支障をきたさないように消防団のイメージアップに努め、消防団員の人材確保を図っていく。



篠原 重寿

学校教職員の長時間労働削減を

答 弁

勤務実態を把握し、職場環境の改善に努める

〔質問〕 学校教員の勤務時間をICカードなどで把握し、長時間労働の改善を図る対策について問う。

〔答弁〕 来年度から、勤務時間を把握するシステムの導入などにより、国や県の働き方改革の動向も見極め、職場環境の改善に努める。



「持続可能なまちづくり」のための体制は

答 弁

より良い市民サービス提供に、市職員の資質向上を進める

〔質問〕 合併後採用で、経験年数の短い職員の割合が45%を占める現状の中、職場での連携が課題と考える。スムーズな業務の遂行に向けての方策は。

〔答弁〕 外部の各種研修とともに重要なのは、OJTで仕事をしながら先輩職員から学ぶこと。課内会議などを通じて、職場内の情報共有やコミュニケーションを活性化させ、若い職員を組織としてフォローできる体制を整える。





伊丹 準二

人間ドックの利便性向上を

答 弁 全員の希望には添えないのが現状

【質問】 他市に先行した医療費助成への取り組みは市民の共感を得ている。

さらに、予防的見地から国民健康保険被保険者の人間ドックの数も1,000人まで増やしている。ただ、もう少し利用者が利用しやすい時間帯を選ばないかとの声があるが、考えを伺う。

【答 弁】 利用者の利便を図りたいと思うが、全員の希望には添えないのが現状である。

本市で働く者の処遇改善

答 弁 処遇改善に努める

【質問】 本市職員の正規職員・嘱託職員などの同一労働・同一賃金に照らせば、労働意欲の向上のためにも処遇改善を目指しているか伺う。

【答 弁】 人事院勧告に照らして改善し、市職員としての処遇改善に努める。

人口増加策に空き家の活用は

答 弁 現状は困難である

【質問】 人口減少解消の一環として、増加し続ける空き家を利用し、無料、低料金にて移住者へ活用できないか。

【答 弁】 人口増加策への空き家利用についてだが、現状において実行は困難である。



藤田 均

合唱発表会は教員の多忙化にならないか

答 弁 部活動完全休養日の第1日曜日に開催

【質問】 「音を観るまちコンサート事業」という、各中学校の合唱発表会が、11月4日に行われる予定。受験の忙しい時期で、教員や保護者の声は聞いているか。どこで決まったのか。

【答 弁】 本事業は、新しい学習指導要領が重視する「主体的な関わり・可能性の発揮」を目的として、生徒が主体となり運営するコンサートである。昨年6月から中学校長会と協議を重ね企画したものであり、各学校の「合唱コンクール」が10月に開催されることから、練習などによる受験への影響はないとのことである。開催時期は、部活動休養日の第1日曜日とした。

給食費無料化を小・中学校へ拡大できないか

答 弁 他自治体の動向を見極めながら研究していく

【質問】 本市は県内で初めて幼稚園給食費の一部無料化を開始したが、保護者の反応はどうか。県内の小・中学校で給食費無料化の例はあるか。

【答 弁】 対象園児の保護者からは大変喜ばれている。県内では三木町が平成27年度から、小・中学校で給食費の一部補助を行っている。



友枝 俊陽

ハイスタッフホールの運営状況と運営体制は

答 弁 開館記念事業をはじめ多くの催し物を開催

【質問】 ①開館から1年を迎えるが利用状況、稼働率などどのような状況か。②市民団体などからは、旧市民会館の時より利用する側として不便さを感じる。運営委託業者の人員の問題や最新機材の関係で、これまでのように利用者側が望むような対応や演出をしても見えない状況があるが、どう考えるのか。

【答 弁】 ①1月末時点で大ホールは142日稼働、来場者数57,000人余り。稼働率は56・8%で、市主催事業9%、指定管理者自主事業10%、貸館事業81%。小ホールは119日稼働、来場者数14,000人余り。稼働率は46・5%で、市主催事業3%、指定管理者自主事業8%、貸館事業89%となっている。

②開館当初より指定管理者制度を導入しているが、旧市民会館は直営だったこともあり、利用者が戸惑う事例があると認識している。その都度、指定管理者と協議している。最新の機器の特殊性や専門性が高く、徹底した安全管理が必要となる中で、催し物が無事に終了することを第一に運営している。人員配置の関係なども含め、旧市民会館と同様の対応は難しいが、利用者の利便性の向上に努めたい。





合田 隆胤

地方行政の責務は！

答 井
市民の安全のため準備を進める

【質問】 Jアラート発令時の地方行政の責務について伺う。併せて、国民保護計画の市民への周知などの検討、ミサイル発射に対する避難訓練の実施予定を伺う。

【答 井】 市町村は「国民保護法」その他の法令、「国民の保護に関する基本指針」および県の国民保護計画を踏まえ、「観音寺市国民保護計画」に基づき、県、自衛隊、警察、消防などと連携し、市民の生命、財産を最優先に守るための措置をとるという責務を有している。警報や避難の指示、住民への伝達、避難住民の誘導、安否情報の収集・提供など重要な役割を担うものであると認識している。円滑に国民保護措置を実施するためには、組織および体制の整備が必要であり、訓練については市の防災訓練との連携を図ることを検討していく。また、市職員の意識を高めるための研修や市民への啓発など、市民の安全を確保するための準備を進めていく。



掲載できなかった一般質問

	氏 名	質 問 件 名
代表質問	大賀 正三 (自民新公会)	●平成30年度の重点施策及び新規事業について
	五味 伸亮 (壮志会)	●観音寺市人口ビジョンと市政について ●公共施設等総合管理計画について ●働き方改革について
	石山 秀和 (公明党)	●ふるさと活力創生課について ●国民健康保険について ●市内経済の活性化策について ●防疫対策について ●学校施設の防災・減災対策について ●通学路の安全対策について ●教職員の働き方改革について
個人質問	大平 直昭	●施政方針について ●農業用施設の補助制度について
	白川 雅仁	●待機児童について ●防犯カメラ設置について ●スマートインターチェンジ整備事業について

	氏 名	質 問 件 名
個人質問	井上 浩司	●水泳授業の民間委託について
	篠原 重寿	●犬猫の殺処分について ●財政運営について
	伊丹 準二	●投票率の向上について
	藤田 均	●本市の雇用情勢と労働力不足対策について ●給付型奨学金制度の創設について ●国保税、介護保険料・利用料の負担軽減について
	合田 隆胤	●SNSやホームページを活用した情報発信について

一般質問をスマートフォン・タブレットで視聴

市議会では、本会議などの様子をインターネットで生中継・録画放映しています。パソコンやスマートフォン・タブレットなどにより、気軽に視聴していただくことができます。

今号から、より多くの方に視聴していただくための取り組みとして、各質問者の録画映像にリンクする QR コードを掲載いたします。

ぜひご活用ください。

※QR コードの読み取りには専用アプリのインストールが必要です。

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。



議案の審議結果 平成30年第1回(3月)定例会

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
議案第 1 号	観音寺市組織条例の一部改正について	原案可決
議案第 2 号	観音寺市附属機関設置条例の一部改正について	〃
議案第 3 号	観音寺市総合振興計画審議会条例の一部改正について	〃
議案第 4 号	観音寺市伊吹開発総合センター条例の一部改正について	〃
議案第 5 号	観音寺市職員定数条例の一部改正について	〃
議案第 6 号	観音寺市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	〃
議案第 7 号	観音寺市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正について	〃
議案第 8 号	観音寺市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	〃
議案第 9 号	観音寺市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	〃
議案第 10 号	観音寺市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	〃
議案第 11 号	観音寺市長及び副市長の給料の特例に関する条例の一部改正について	〃
議案第 12 号	観音寺市教育委員会教育長の給料の特例に関する条例の一部改正について	〃
議案第 13 号	観音寺市職員の給与に関する条例の一部改正について	〃
議案第 14 号	観音寺市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	〃
議案第 15 号	観音寺市特別会計条例の一部改正について	〃
議案第 16 号	がんばれ観音寺応援基金条例の一部改正について	〃
議案第 17 号	観音寺市税条例等の一部改正について	〃
議案第 18 号	観音寺市都市計画税条例の一部改正について	〃
議案第 19 号	観音寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第 20 号	観音寺市国民健康保険条例の一部改正について	〃
議案第 21 号	観音寺市国民健康保険税条例の一部改正について	〃
議案第 23 号	観音寺市指定居宅介護支援等事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	〃
議案第 24 号	観音寺市介護保険法関係手数料条例の制定について	〃
議案第 25 号	観音寺市中小企業融資条例の一部改正について	〃
議案第 26 号	観音寺市総合コミュニティセンター条例の一部改正について	〃
議案第 27 号	観音寺市下水道条例の一部改正について	〃
議案第 28 号	観音寺市郷土資料館条例の一部改正について	〃
議案第 29 号	観音寺市立総合体育館条例の一部改正について	〃
議案第 30 号	観音寺市水道事業の設置等に関する条例の廃止について	〃
議案第 31 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同 意
議案第 32 号	観音寺市総合振興計画基本構想の策定について	原案可決
議案第 33 号	辺地に係る総合整備計画の策定について	〃
議案第 34 号	市道路線の認定について	〃
議案第 35 号	指定管理者の指定について(観音寺市総合コミュニティセンター本館)	〃
議案第 37 号	平成 29 年度観音寺市一般会計補正予算(第7号)	〃
議案第 38 号	平成 29 年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第 39 号	平成 29 年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第 40 号	平成 29 年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	〃
議案第 41 号	平成 29 年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第 43 号	平成 30 年度観音寺市施設貸付事業特別会計予算	〃
議案第 45 号	平成 30 年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計予算	〃
議案第 48 号	平成 30 年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計予算	〃
議案第 49 号	平成 30 年度観音寺市航路事業特別会計予算	〃
議案第 50 号	平成 30 年度観音寺市粟井財産区特別会計予算	〃
議案第 51 号	平成 30 年度観音寺市粟井坂瀬山林特別会計予算	〃
議案第 52 号	平成 30 年度観音寺市公共下水道事業特別会計予算	〃
議案第 53 号	平成 30 年度観音寺市農業集落排水事業特別会計予算	〃
議提議案第 1 号	観音寺市議会委員会条例の一部改正について	〃
議提議案第 2 号	地方自治法第 180 条第 1 項に基づく観音寺市長専決処分事項の一部改正について	〃
議案第 54 号	副市長の選任について	同 意

●賛否の分かれた議案

※議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席

議 案 名 等	合田 隆胤	白川 雅仁	藤田 均	五味 伸亮	篠原 重幸	篠浦 孝幸	篠原 俊代	友枝 和陽	石山 秀和	大平 直昭	立石 隆男	伊丹 準二	詫間 茂	安藤 康次	井上 浩司	大久保 隆敏	井下 尊義	大矢 一夫	大賀 正三	秋山 忠敏	議決結果
議案第 22 号 観音寺市介護保険条例の一部改正について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 36 号 香川県広域水道事業体設立準備協議会の廃止について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第 42 号 平成 30 年度観音寺市一般会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○	○	○	○	〃
議案第 44 号 平成 30 年度観音寺市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第 46 号 平成 30 年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第 47 号 平成 30 年度観音寺市介護保険事業特別会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

※自民…自民新国会 壮志…壮志会 公明…公明党 社民…社会民主党 共産…日本共産党



議会だより ミライエの写真 募集



テーマ 観音寺市（四季折々の風景や行事など）

応募資格 市内に在住および勤務の方

応募方法 郵送またはEメールで、写真が写真データ（1人1点）と、住所・氏名・電話番号・作品のタイトル・返却希望の有無を明記の上、議会事務局までお送りください。

締切 平成30年6月29日（金）
議会だより発行は8月になります。

選考方法

- ・人物が特定できる場合または個人の所有物である場合は、必ずご本人の承諾を得てください。肖像権や著作権に関して、当市議会は一切の責任を負いかねます。
- ・採用された作品の使用権は、観音寺市議会広聴広報委員会に帰属します。また、使用に当たり加工させていただく場合がありますので、ご了承ください。



応募先 〒768-8601 観音寺市坂本町一丁目1番1号 観音寺市議会事務局 宛
電話（0875）23-3913 E-mail gikai@city.kanonji.lg.jp
くわしくは、ホームページをご覧ください。皆さまのご応募をお待ちしています。

視察に来てくれました

◆岡山県津山市議会
「中心市街地活性化について」

広聴広報委員会

委員長 井下 尊義
副委員長 石山 秀和

友枝 俊陽
五味 伸亮
篠原 和代
豊浦 孝幸
合田 隆胤

27日	21日	20日	19日	14 ～ 15日	7日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議（一般質問）	本会議

6月定例会の予定

編集後記

厳しい寒さを久方ぶりに経験した本年、やっと春本番を迎えることが出来ました。平成30年度予算審査および、今後10年の本市の新たなまちづくりの指針であります「第2次観音寺市総合振興計画」に掲げる市の将来像実現のため、市長が施政方針で述べられた部分について、各派代表質問や一般質問が活発になされました。また、今後の雇用の受け皿となる観音寺港港湾環境整備事業は、県の施行によりあと数年で埋立が完了予定で、2020年から部分売却が開始予定との方向性が出され、期待膨らむ新たな企業誘致施策が前進します。

これまでも議会質問の多かった待機児童対策もさまざまな提案がなされ、当局も本格的に検討を始めました。選択肢を広げる議論をしてまいりたいと思います。

新年度も、市民の皆さまにとつて、何が必要なのか。中長期的な視点で活発な議論、政策提案を行ってまいります。